

敬愛大学 環境情報研究所

## 『ネパール学術調査隊』調査報告

中 村 圭 三

当研究所自然環境部門では、数年前からネパールの山岳地帯における「環境変化に関する研究」に着手してきた。2004年3月にはエヴェレスト街道のナムチェバザール、2005年3月にはアンナプルナ内院に谷地隆客員研究員が赴き、予察的な水質調査等を実施してきた。

これらの調査の成果を踏まえて、当研究所内にネパール学術調査隊を組織し、『ネパール山岳地帯における環境変化に関する研究』の現地調査を、エヴェレスト南麓高地(エヴェレスト街道)において、2006年3月4日から3月20日までの期間に実施した(表1)。

隊員は、中村圭三(所長)、谷口智雅(所員)、谷地隆(客員研究員)の3人で、3月5日にカトマンズで合流した。翌3月6日、小型機で約1時間のルクラ(2,840m)に9時頃に到着した。ルクラは“エヴェレスト街道”の出発点である。我々の当初の計画では、調査期間が短いため、この街道をカラパタール(5,550m)まで往復しながら、「水質調査」、「水利用調査」、「ゴミ問題調

査」等を実施することになっていた。しかしながら、隊員は次々に高山病に悩まされ、中村隊員はシャンボチェの上部(3,870m)まで、谷口隊員はトゥクラ(4,620m)までで、当初の目標地点まで到達できたのは、秘境探検家の谷地隊員唯一人であった。

このように、体力の限界に挑戦しながらの調査ではあったが、天候には恵まれ、またヒマラヤの美しい巨峰にも勇気付けられ、3人の隊員は3月16日夜に無事ルクラで再会、喜びを分かち合った。

3月17日、再び小型機でカトマンズへ移動、18日に調査結果についての意見交換などをし、19日に現地にて解散した。

今回は当研究所初めての海外調査であり、当初の計画通りの成果を上げるには至らなかったが、この成果をここに報告しご批判頂くとともに、今後さらに充実した調査研究を推進できるよう努力したいと考えている。

表1 敬愛大学 環境情報研究所

ネパール学術調査隊調査日程表（2006年3月4日～3月20日）

日数	月日	曜日	移動・調査地域		
			谷 地	谷 口	中 村
第1日	3月4日	土	カトマンズ	成田 → バンコク	
第2日	3月5日	日	カトマンズ(1,437m)		
第3日	3月6日	月	カトマンズ → ルクラ → モンジョ(2,840m)		
第4日	3月7日	火	モンジョ → ナムチェバザール(3,440m)		
第5日	3月8日	水	ナムチェバザール		
第6日	3月9日	木	ナムチェバザール → タンボチェ(3,860m)	シャンボチェ(3,870m)	
第7日	3月10日	金	タンボチェ → ディンボチェ(4,410m)	ナムチェバザール	
第8日	3月11日	土	ディンボチェ	ナムチェバザール	
第9日	3月12日	日	ディンボチェ→トゥクラ(4,620m)	ナムチェバザール	
第10日	3月13日	月	→ カラパタール(5,550m)	トゥクラ → ペリチェ	→ジョルサレ(2,805m)
第11日	3月14日	火	→ ペリチェ(4,240m)	ペリチェ→タンボチェ	ジョルサレ → ガート
第12日	3月15日	水	→ ナムチェバザール	→ ナムチェバザール	ガート(2,492m)→ルクラ
第13日	3月16日	木	ナムチェバザール → ルクラ	ルクラ(2,840m)	
第14日	3月17日	金	ルクラ → カトマンズ		
第15日	3月18日	土	カトマンズ		
第16日	3月19日	日	カトマンズ	カトマンズ →	
第17日	3月20日	月	カトマンズ	→ 成田	

（標高はEVEREST BASE CAMP, individualによる）